

平成19年度

山梨県公立高等学校入学者選抜
に関する意識調査の結果概要

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

平成19年度山梨県公立高等学校入学者選抜に関する意識調査の結果

【大月短期大学附属高等学校及び甲陵高等学校を除く全日制課程】

I 調査の概要

1 調査の目的

平成19年度から実施した新たな入学者選抜制度について、この制度を経験した高校1年生とその保護者の意見や考えを把握し、今後の入学者選抜の改善のための資料を得ることを目的とする。

2 調査項目

調査項目	
・前期募集についてどう思うか	(問1)
・前期募集についてよいと思う理由	(問2)
・前期募集についてよくないと思う理由	(問3)
・前期募集に出願したか	(問4)
・前期募集へ出願した理由	(問5)
・前期募集で合格内定になったか	(問6)
・前期募集不合格に対する意識	(問7)
・後期募集でどのような学校・学科に出願したか	(問8)
・前期募集・後期募集で別の学科、別の高校に出願した理由	(問9)
・後期募集にのみ出願した理由	(問10)
・「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思うか	(問11)
・「前期募集選抜方法」で選抜資料比重を示したが、それについてどう思うか	(問12)
・前期募集の募集率についてどう思うか	(問13)
・高校を決定する上で参考になったものは何か	(問14)

3 調査対象

13,698人

全日制県立高校及び市立甲府商業高校の1年生全員 6,849人

上記高校1年生の保護者 6,849人

4 調査方法

全日制県立高校及び市立甲府商業の計30校を通じて実施(悉皆調査)

5 調査時期

平成19年4月実施

6 回収結果

	配付数	回収数	回収率
高校1年生	6,849	6,795	99.2%
高校1年生保護者	6,849	6,729	98.2%
合計	13,698	13,524	98.7%

参考

比率(%)は、各項目ごとに小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

また、複数回答による項目では、対象者数に対する回答数で比率を算定している。

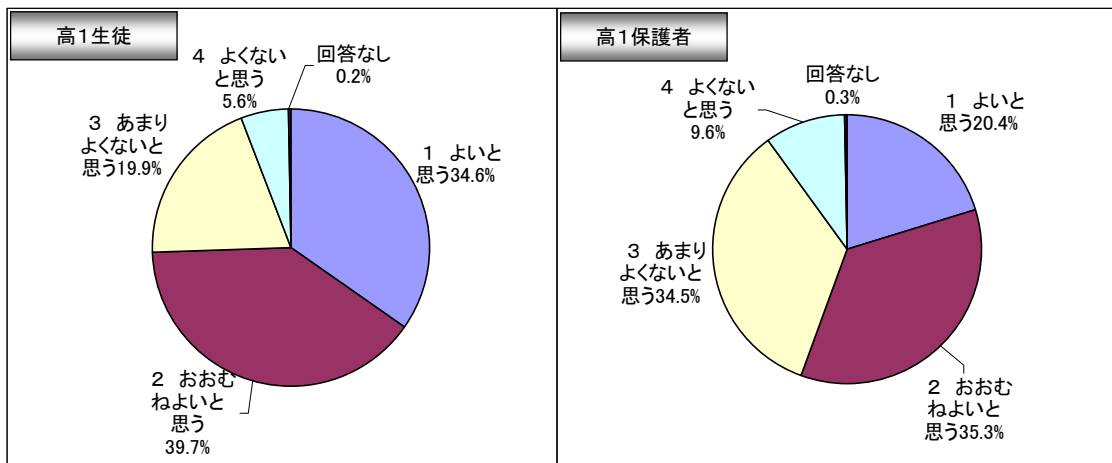
Ⅱ 調査結果

問1 すべての人にお聞きします。

平成19年度入学者選抜から制度が改善され、「前期・後期募集制」が導入されましたが、前期募集についてどう思いますか。(つぎの中から1つ選んでください)

- ① よいと思う
- ② おおむねよいと思う
- ③ あまりよくないと思う
- ④ よくないと思う

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よいと思う	2,352	34.6%	1,371	20.4%	3,723	27.5%
2 おおむねよいと思う	2,701	39.7%	2,372	35.3%	5,073	37.5%
3 あまりよくないと思う	1,349	19.9%	2,319	34.5%	3,668	27.1%
4 よくないと思う	380	5.6%	645	9.6%	1,025	7.6%
回答なし	13	0.2%	22	0.3%	35	0.3%
計	6,795	100.0%	6,729	100.0%	13,524	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集についてどう思うか

○ 全体の傾向

- ・生徒は、74.3%が「よいと思う」、「おおむねよいと思う」と回答した。一方、25.5%が「あまりよくないと思う」、「よくないと思う」と回答した。
- ・保護者は、55.7%が「よいと思う」、「おおむねよいと思う」と回答した。一方、44.1%が「あまりよくないと思う」、「よくないと思う」と回答した。

○ コメント

- ・実際に入試を経験した生徒の約75%(4人に3人)と保護者の過半数が前期募集に対して肯定的な回答をしたことは、今回の入試制度改革が生徒や保護者に支持されたものとする。
- ・保護者の否定的な回答が4割程度あったのは、問3の回答のとおり入試制度改革の初年度で「合否の予想がつきにくい」などの理由から、生徒以上に新制度への不安感があったためとする。

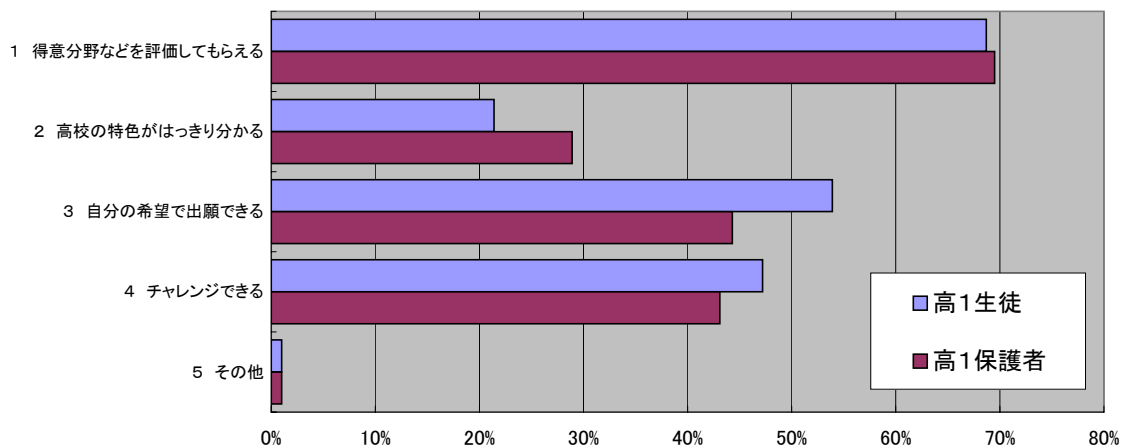
問2 問1で①または②(「肯定的回答」と回答した人にお聞きします。

よいと思う理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで教えてください)

- ① 自分の得意分野や能力、適性、日頃の努力などを評価してもらえる
- ② 各高校の特色がはっきり分かるようになって、入学したい高校が見つけやすくなった
- ③ 中学校長の推薦によらず、自分の希望で出願できる
- ④ 不合格になっても後期募集があり、入学したい学校にチャレンジできる
- ⑤ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 得意分野などを評価してもらえる	3,473	68.7%	2,603	69.5%	6,076	69.1%
2 高校の特色がはっきり分かる	1,083	21.4%	1,082	28.9%	2,165	24.6%
3 自分の希望で出願できる	2,725	53.9%	1,657	44.3%	4,382	49.8%
4 チャレンジできる	2,387	47.2%	1,613	43.1%	4,000	45.5%
5 その他	52	1.0%	39	1.0%	91	1.0%
回答なし	7	0.1%	10	0.3%	17	0.2%
対象者数	5,053		3,743		8,796	



【今回の調査結果】

前期募集についてよいと思う理由

○ 全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「得意分野などを評価してもらえる」68.7%、「自分の希望で出願できる」53.9%、「入学したい学校にチャレンジできる」47.2%であった。
- ・保護者も生徒同様、「得意分野などを評価してもらえる」69.5%、「自分の希望で出願できる」44.3%、「入学したい学校にチャレンジできる」43.1%であった。

○ コメント

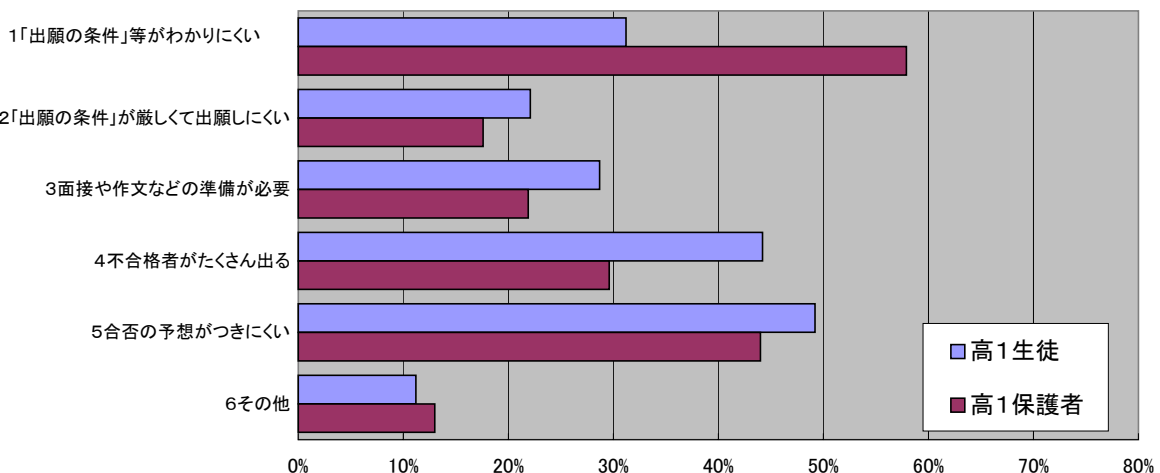
- ・新制度導入により、「自分の得意分野で、希望する高校に複数回チャレンジできるようになった」ことが、生徒、保護者から支持されたものとする。

問3 問1で③または④(「否定的回答」と回答した人にお聞きします。
よくないと思う理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

- ① 高校が示す「志願してほしい生徒像」や「出願の条件」がわかりにくい
- ② 高校が示す「出願の条件」が厳しくて出願しにくい
- ③ 後期募集の学力検査の準備の他に、面接や作文などの準備が必要である
- ④ 不合格者がたくさん出る
- ⑤ 合否の予想がつきにくい
- ⑥ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 出願の条件等がわかりにくい	540	31.2%	1,716	57.9%	2,256	48.1%
2 出願の条件が厳しくて出願しにくい	382	22.1%	521	17.6%	903	19.2%
3 面接や作文などの準備が必要	496	28.7%	648	21.9%	1,144	24.4%
4 不合格者がたくさん出る	764	44.2%	876	29.6%	1,640	34.9%
5 合否の予想がつきにくい	851	49.2%	1,305	44.0%	2,156	45.9%
6 その他	193	11.2%	386	13.0%	579	12.3%
回答なし	12	0.7%	29	1.0%	41	0.9%
対象者数	1,729		2,964		4,693	



【今回の調査結果】

前期募集についてよくないと思う理由

○ 全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「合否の予想がつきにくい」49.2%、「不合格者がたくさん出る」44.2%、「出願の条件等がわかりにくい」31.2%であった。
- ・保護者の回答で多かったのは、「出願の条件等がわかりにくい」57.9%、「合否の予想がつきにくい」44.0%、「不合格者がたくさん出る」29.6%であった。特に、保護者では、「出願の条件等がわかりにくい」という回答の割合が、生徒に比べて高かった。

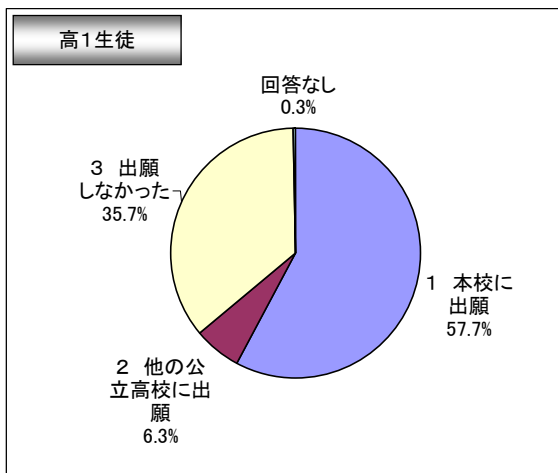
○ コメント

- ・生徒、保護者ともに、「合否の予想がつきにくい」とことや「不合格者がたくさん出る」といった新制度への不安感があったことがうかがえる。
- ・特に、保護者で「出願の条件等がわかりにくい」と回答した割合が高いことは、生徒に比べ保護者には、各高校が示す「出願の条件」等の内容や説明に接する機会が少なかったことも影響しているものと考えられる。
- ・今後とも、制度の周知を図るとともに、記載内容や表現についても一層の工夫を図る必要がある。

問4 すべての人にお聞きします。
あなたは、前期募集に出願しましたか。
(つぎの中から1つ選んでください)

- ① 本校に出願した
- ② 他の公立高校に出願した
- ③ 出願しなかった

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 本校に出願	3,919	57.7%
2 他の公立高校に出願	428	6.3%
3 出願しなかった	2,427	35.7%
回答なし	21	0.3%
計	6,795	100.0%



【今回の調査結果】
前期募集に出願したか

○ 全体の傾向

・生徒の64.0%が前期募集に出願した。そのうち、6.3%は、入学した高校とは別の高校の前期募集に出願した。

○ コメント

・半数を超える生徒が前期募集に出願したことは、受検機会の複数化や多様な尺度による選抜という入試制度改革の趣旨が生徒に支持されたものと考ええる。

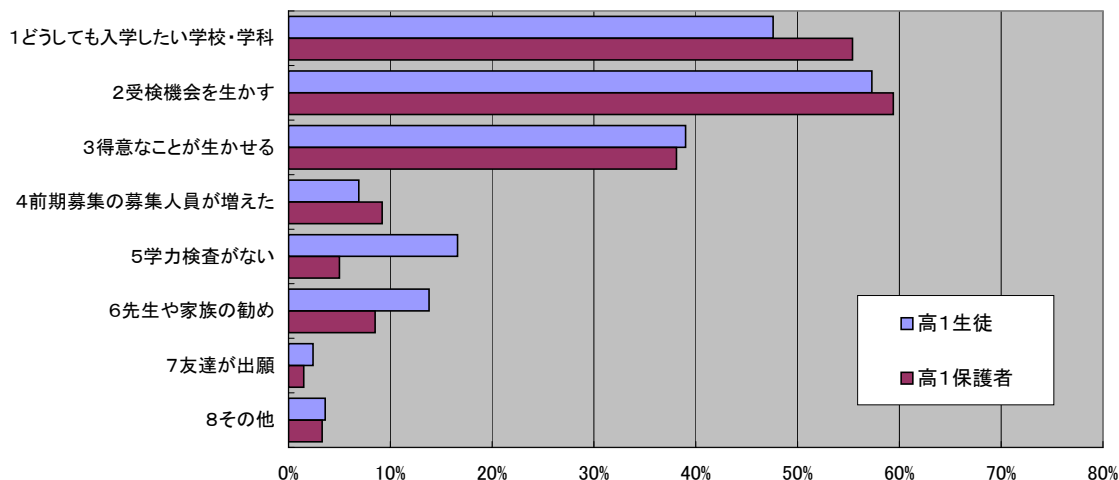
問5 問4で①または②(「前期募集に出願」と回答した人)にお聞きします。

あなたが、前期募集に出願した理由は何ですか。

(当てはまるものを2つまで答えてください)

- ① どうしても入学したい学校・学科(コース)だったから
- ② 受検機会を最大限生かそうと思ったから
- ③ 入学したい高校の「出願条件」などが自分に当てはまり、得意なことが生かせると思ったから
- ④ 前期募集の募集人員が従来の推薦入試に比べ増えたから
- ⑤ 学力検査がないから
- ⑥ 先生や家族に勧められたから
- ⑦ 友達が出願するから
- ⑧ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 どうしても入学したい学校・学科	2,068	47.6%	2,399	55.4%	4,467	51.5%
2 受検機会を生かす	2,493	57.3%	2,571	59.4%	5,064	58.4%
3 得意なことが生かせる	1,694	39.0%	1,649	38.1%	3,343	38.5%
4 前期募集の募集人員が増えた	302	6.9%	397	9.2%	699	8.1%
5 学力検査がない	721	16.6%	217	5.0%	938	10.8%
6 先生や家族の勧め	598	13.8%	367	8.5%	965	11.1%
7 友達が出願	103	2.4%	66	1.5%	169	1.9%
8 その他	156	3.6%	144	3.3%	300	3.5%
回答なし	10	0.2%	29	0.7%	39	0.4%
対象者数	4,347		4,328		8,675	



【今回の調査結果】

前期募集への出願理由

○ 全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「受検機会を生かす」57.3%、次いで、「どうしても入学したい学校・学科だった」47.6%、「得意なことが生かせる」39.0%であった。また、保護者に比べて「学力検査がない」、「先生や家族に勧められた」と回答した割合が高かった。
- ・保護者も生徒同様、「受検機会を生かす」が59.4%と最も高く、次いで「どうしても入学したい学校・学科だった」55.4%、「得意なことが生かせる」38.1%であった。

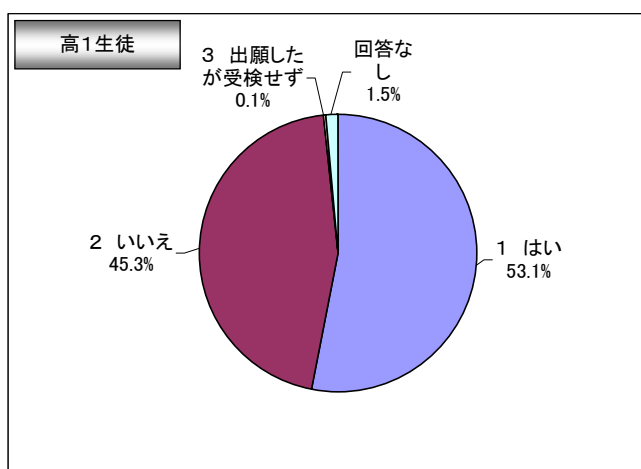
○ コメント

- ・生徒、保護者とも「どうしても入学したい高校」への受検機会が拡大したことを支持していることがわかる。

問6 問4で①または②(「前期募集に出願」と回答した人)にお聞きします。
 前期募集で合格内定になりましたか。
 (つぎの中から1つ選んでください)

- ① はい
- ② いいえ
- ③ 出願したが受検しなかった

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 はい	2,307	53.1%
2 いいえ	1,969	45.3%
3 出願したが受検せず	5	0.1%
回答なし	66	1.5%
計	4,347	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集で合格内定になったか

○ 全体の傾向

- ・前期募集に出願した生徒のうち、53.1%が前期募集で内定となった。一方、45.3%の生徒は前期募集で内定とならなかったと回答した。

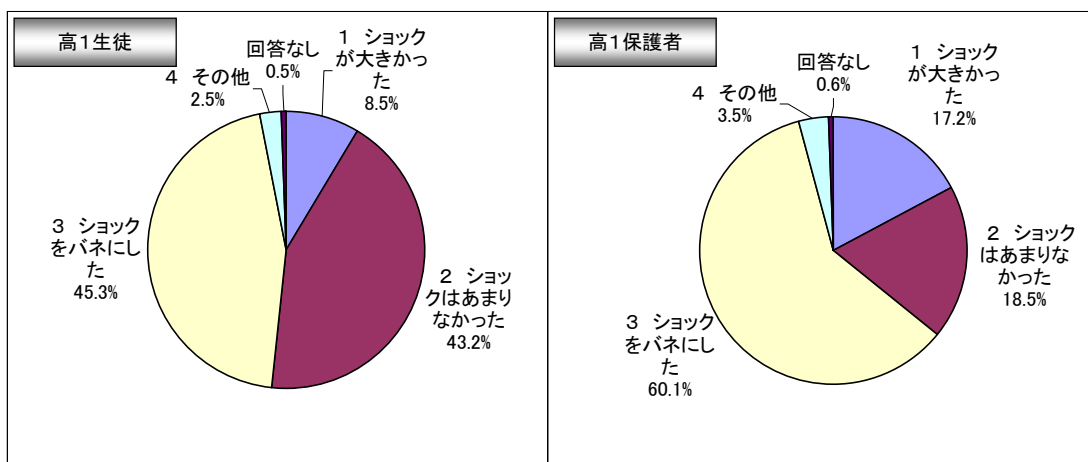
問7 問6で②(「合格内定とならなかった」と回答した人)にお聞きします。

前期募集で合格内定にならなかったことに、どんな感想を持ちましたか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- ① ショックが大きく、その後の学習や学校選択に支障をきたした
- ② ショックはあまりなかった
- ③ ショックはあったがそれをバネにして学習に取り組んだ
- ④ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 ショックが大きかった	167	8.5%	336	17.2%	503	12.8%
2 ショックはあまりなかった	852	43.2%	361	18.5%	1,213	31.0%
3 ショックをバネにした	892	45.3%	1,171	60.1%	2,063	52.7%
4 その他	50	2.5%	69	3.5%	119	3.0%
回答なし	9	0.5%	11	0.6%	20	0.5%
計	1,970	100.0%	1,948	100.0%	3,918	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集不合格に対する意識

○ 全体の傾向

- ・生徒の45.3%が「ショックをバネにした」、43.2%が「ショックはあまりなかった」と回答した。一方、8.5%が「ショックが大きくその後の学習や学校選択に支障をきたした」と回答した。
- ・保護者の60.1%が「ショックをバネにした」、18.5%が「ショックはあまりなかった」と回答した。一方、17.2%が「ショックが大きくその後の学習や学校選択に支障をきたした」と回答した。

○ コメント

- ・生徒と保護者で前期募集の不合格の捉え方にやや違いは見られるが、生徒は前期募集における不合格を比較的冷静に受け止めていることがわかる。
- ・各中学校において、不合格者に対して適切な事後指導が行われたものと考えられる。

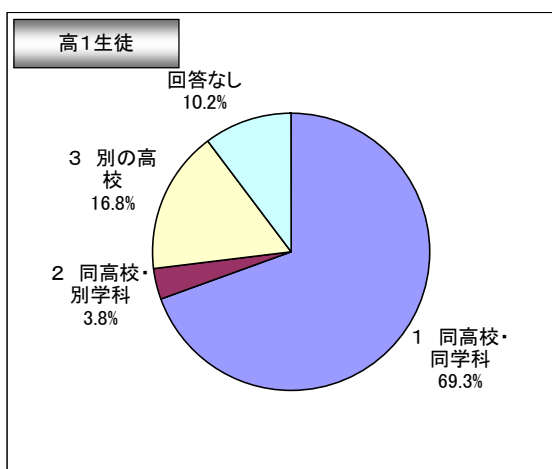
問8 問6で②(「合格内定とならなかった」と回答した人)にお聞きします。

後期募集ではどのような学校・学科に出願しましたか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- ① 前期募集で出願した高校と同じ高校の同じ学科(コース)
- ② 前期募集で出願した高校と同じ高校の別の学科(コース)
- ③ 前期募集で出願した高校とは別の高校

選択肢	高1生徒	
	人数	比率
1 同高校・同学科	1,366	69.3%
2 同高校・別学科	74	3.8%
3 別の高校	330	16.8%
回答なし	200	10.2%
計	1,970	100.0%



【今回の調査結果】

後期募集でどのような学校・学科に出願したか

○ 全体の傾向

・生徒の73.1%が同一の高校へ出願し、そのうち3.8%が前期とは別の学科に出願した。また、16.8%が前期募集に出願した高校とは別の高校へ出願した。

○ コメント

・7割を超える生徒が同一高校に出願したことは、複数の受検機会を生かして、行きたい学校に再チャレンジする積極的な姿勢が表れた結果と考える。

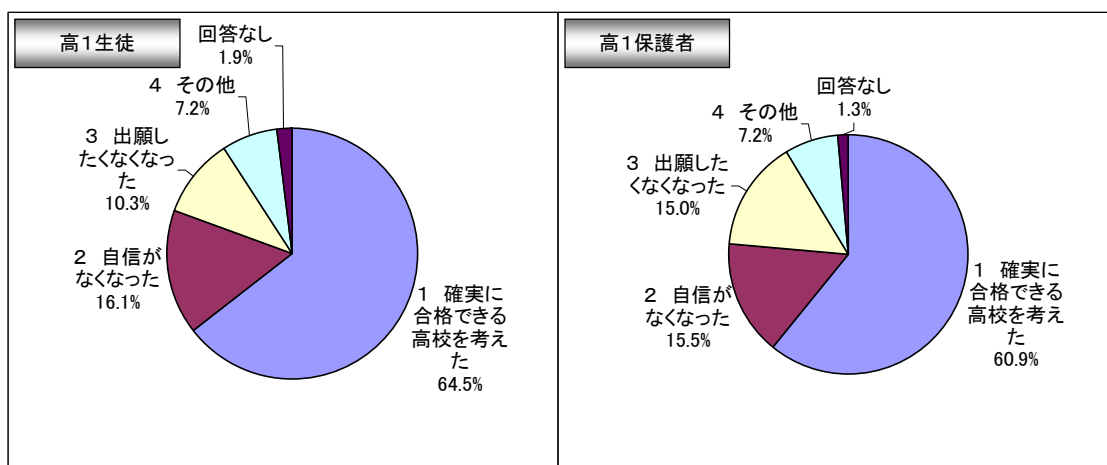
問9 問8で②または③(「別学科・別高校」)と回答した人にお聞きします。

あなたが、前期募集・後期募集で別の学科又は別の高校に出願した理由は何ですか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- ① 前期募集では可能性にかけ、後期募集では確実に合格できる高校・学科を考えたから
- ② 前期募集で合格内定とならなかったため、同じ学科、同じ高校に出願する自信がなくなったから
- ③ 前期募集で合格内定とならなかった学科・高校に、出願したくなかったから
- ④ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 確実に合格できる高校を考えた	269	64.5%	227	60.9%	496	62.8%
2 自信がなくなった	67	16.1%	58	15.5%	125	15.8%
3 出願したくなかった	43	10.3%	56	15.0%	99	12.5%
4 その他	30	7.2%	27	7.2%	57	7.2%
回答なし	8	1.9%	5	1.3%	13	1.6%
計	417	100.0%	373	100.0%	790	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集・後期募集で別の学科、別の高校に出願した理由

○ 全体の傾向

- ・生徒の64.5%が「確実に合格できる高校を考えた」と回答した。
- ・保護者も生徒同様、60.9%が「確実に合格できる高校を考えた」とする回答が最も多かった。

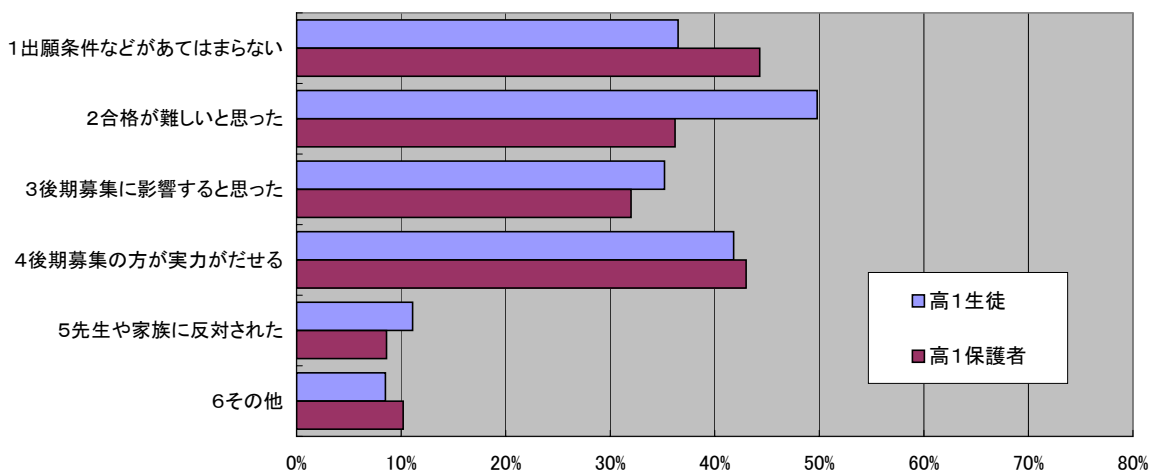
○ コメント

- ・別の学科、別の高校に出願した生徒、保護者は、後期募集では合格を優先させる傾向がみられた。

問10 前期募集に申し込まないで、後期募集のみに申し込んだ人にお聞きします。
 あなたが、前期募集に申し込まないで、後期募集のみに申し込んだ理由は何ですか。
 (当てはまるものを2つまで教えてください)

- ① 入学したい高校の「前期募集の出願条件」などが自分に当てはまらないと思ったから
- ② 前期募集は倍率が高くなりそうで、合格が難しいと思ったから
- ③ 万一、不合格になるとショックが大きく、後期募集に影響すると思ったから
- ④ 後期募集(学力検査)の方が実力を発揮できると思ったから
- ⑤ 先生や家族に反対されたから
- ⑥ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 出願条件などがあてはまらない	886	36.5%	1,056	44.3%	1,942	40.4%
2 合格が難しいと思った	1,209	49.8%	864	36.2%	2,073	43.1%
3 後期募集に影響すると思った	854	35.2%	763	32.0%	1,617	33.6%
4 後期募集の方が実力がだせる	1,015	41.8%	1,025	43.0%	2,040	42.4%
5 先生や家族に反対された	270	11.1%	204	8.6%	474	9.9%
6 その他	206	8.5%	244	10.2%	450	9.4%
回答なし	28	1.2%	42	1.8%	70	1.5%
対象者数	2,427		2,385		4,812	



【今回の調査結果】

後期募集にのみ出願した理由

○ 全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「合格が難しいと思った」49.8%、次いで「後期募集の方が実力がだせる」41.8%、「出願条件などがあてはまらない」36.5%、「後期募集に影響すると思った」35.2%であった。
- ・保護者の回答で多かったのは、「出願条件などがあてはまらないと思った」44.3%、次いで「後期募集の方が実力がだせる」43.0%、「合格が難しいと思った」36.2%、「後期募集に影響すると思った」32.0%であった。

○ コメント

- ・回答が選択肢の1～4に平均的に分布したことは、生徒や保護者が前期・後期募集制の特徴について、真剣に受け止めた結果であると思われる。
- ・生徒、保護者とも、後期募集のみに申し込んだ主な理由として、4割程度が「出願条件などがあてはまらない」と回答しているが、問3で前期募集に否定的な回答をした者のうち、「出願の条件がわかりにくい」との回答が5割弱であったことも考え合わせると、今後とも、自己推薦による前期募集の趣旨や各高校の求める生徒像等について、一層理解が得られるよう工夫や周知を図る必要がある。

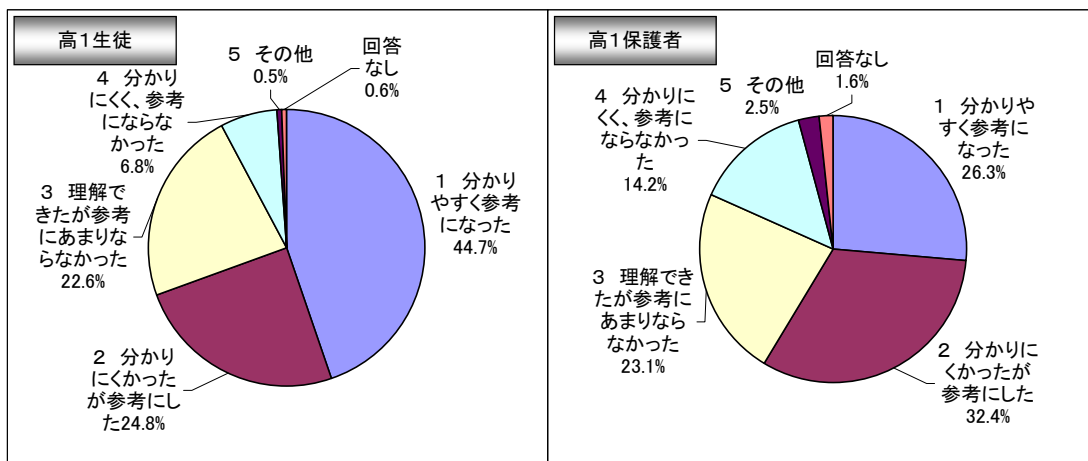
問11 すべての人にお聞きします。

各高校が示した「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思いますか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- ① とても分かりやすく、志望校決定の参考になった
- ② 分かりにくかったが、志望校決定の参考にした
- ③ 理解できたが、志望校決定の参考にあまりならなかった
- ④ 分かりにくく、参考にならなかった
- ⑤ その他

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 分かりやすく参考になった	3,037	44.7%	1,769	26.3%	4,806	35.5%
2 分かりにくかったが参考にした	1,686	24.8%	2,179	32.4%	3,865	28.6%
3 理解できたが参考にあまりならなかった	1,538	22.6%	1,553	23.1%	3,091	22.9%
4 分かりにくく、参考にならなかった	461	6.8%	955	14.2%	1,416	10.5%
5 その他	32	0.5%	166	2.5%	198	1.5%
回答なし	41	0.6%	107	1.6%	148	1.1%
計	6,795	100.0%	6,729	100.0%	13,524	100.0%



【今回の調査結果】

「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」についてどう思うか

○ 全体の傾向

- ・「分かりやすく参考になった」と回答した生徒は44.7%、保護者26.3%で、全体の35.5%となり、最も回答が多かった。
- ・「分かりやすく参考になった」と「分かりにくかったが参考にした」を合わせると、生徒が69.5%、保護者が58.7%で、全体の64.1%が何らかの形で志望校決定の参考にした。
- ・一方、「理解できたが参考にあまりならなかった」と「分かりにくく、参考にならなかった」を合わせると生徒29.4%、保護者37.3%となり、全体の33.4%は、志望校決定の参考にしなかったと回答した。

○ コメント

- ・各高校が示す「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」については、全体の6割以上が参考に行っている反面、3割は参考に行っていないため、今後とも内容の見直しと周知を図っていく必要がある。

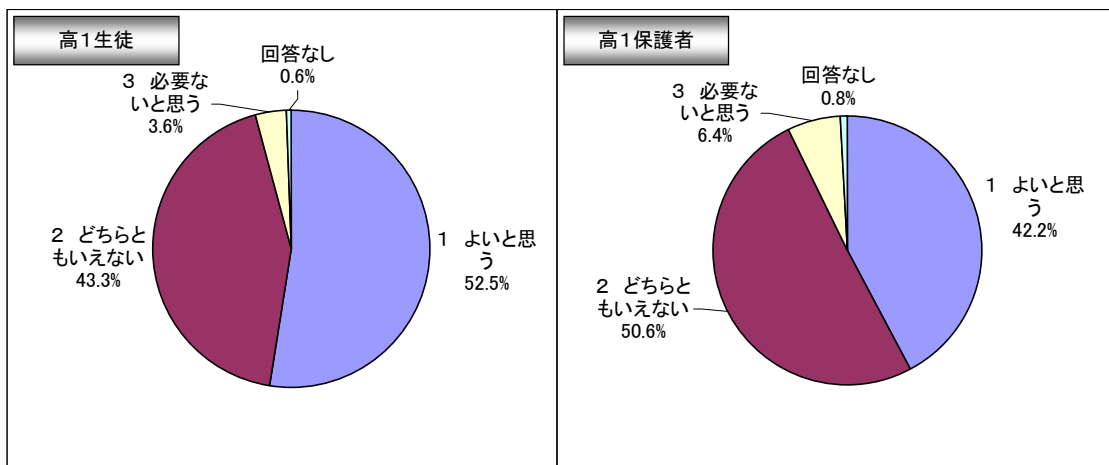
問12 すべての人にお聞きします。

各高校が示した「前期募集選抜方法」では調査書、面接等選抜資料の比重を示しましたが、それについてどう思いますか。

(つぎの中から1つ選んでください)

- ① よいと思う
- ② どちらともいえない
- ③ 必要ないと思う

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 よいと思う	3,566	52.5%	2,837	42.2%	6,403	47.3%
2 どちらともいえない	2,945	43.3%	3,407	50.6%	6,352	47.0%
3 必要ないと思う	244	3.6%	434	6.4%	678	5.0%
回答なし	40	0.6%	51	0.8%	91	0.7%
計	6,795	100.0%	6,729	100.0%	13,524	100.0%



【今回の調査結果】

「前期募集選抜方法」で選抜資料比重を示したが、それについてどう思うか

○ 全体の傾向

・調査書、面接、作文、特技、個性表現をどの程度重視するのか、その比重を事前に示したが、生徒の半数以上の52.5%が「よいと思う」と回答し、「必要ないと思う」と回答したのは3.6%であった。

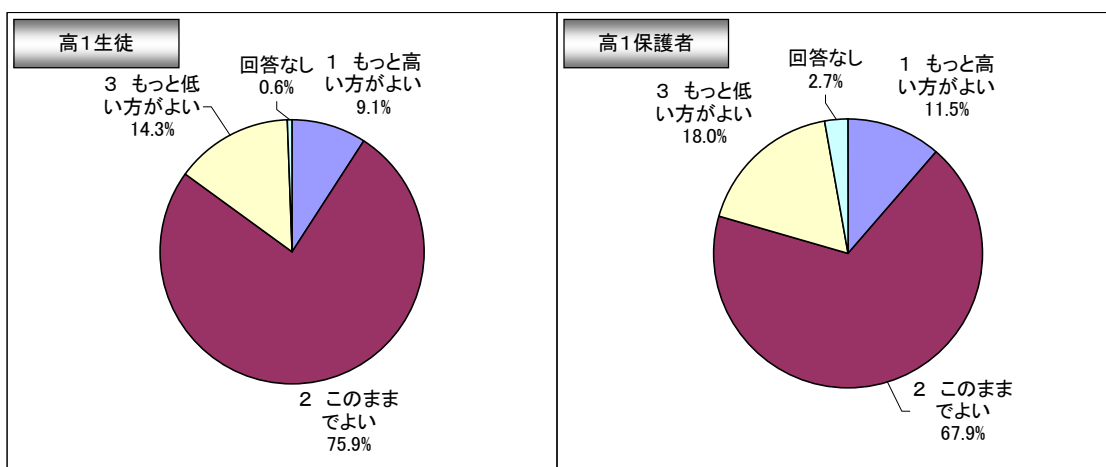
○ コメント

・各高校で示す検査項目の比重については、否定的な回答は少ないものの、「どちらともいえない」という回答が半数近くを占めるなど、さらに内容等について周知を図る必要がある。

問13 すべての人にお聞きします。
 あなたが入学した学科の前期募集の募集率についてどう思いますか。
 (つぎの中から1つ選んでください)

- ① もっと高い方がよい
- ② このままでよい
- ③ もっと低い方がよい

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 もっと高い方がよい	619	9.1%	771	11.5%	1,390	10.3%
2 このままでよい	5,160	75.9%	4,568	67.9%	9,728	71.9%
3 もっと低い方がよい	973	14.3%	1,209	18.0%	2,182	16.1%
回答なし	43	0.6%	181	2.7%	224	1.7%
計	6,795	100.0%	6,729	100.0%	13,524	100.0%



【今回の調査結果】

前期募集の募集率についてどう思うか

○ 全体の傾向

- ・生徒の75.9%、保護者の67.9%が「このままでよい」と回答した。
- ・生徒、保護者ともに、現行の募集率を支持する者が最も多く、次いで、「もっと低い方がよい」生徒14.3%、保護者18.0%、「もっと高い方がよい」生徒9.1%、保護者11.5%であった。

○ コメント

- ・前期募集の募集率については、現行の比率が支持されたものとする。

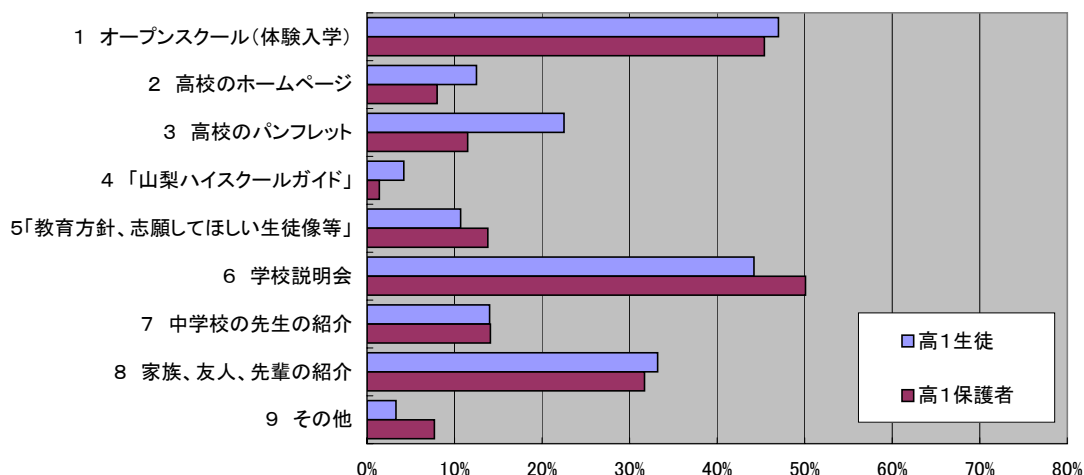
問14 すべての人にお聞きします。

受検する高校を決定する上で、最も参考になったのはどれですか。

(当てはまるものを2つまで教えてください)

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ① オープンスクール(体験入学) | ⑥ 学校説明会 |
| ② 高校のホームページ | ⑦ 中学校の先生の紹介 |
| ③ 高校のパンフレット | ⑧ 家族、友人、先輩の紹介 |
| ④ 「山梨ハイスクールガイド」 | ⑨ その他 |
| ⑤ 「教育方針、志願してほしい生徒像、前期募集選抜方法」 | |

選択肢	高1生徒		高1保護者		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1 オープンスクール(体験入学)	3,194	47.0%	3,052	45.4%	6,246	46.2%
2 高校のホームページ	848	12.5%	539	8.0%	1,387	10.3%
3 高校のパンフレット	1,526	22.5%	776	11.5%	2,302	17.0%
4 「山梨ハイスクールガイド」	282	4.2%	96	1.4%	378	2.8%
5 「教育方針、志願してほしい生徒像等」	725	10.7%	927	13.8%	1,652	12.2%
6 学校説明会	3,002	44.2%	3,371	50.1%	6,373	47.1%
7 中学校の先生の紹介	948	14.0%	950	14.1%	1,898	14.0%
8 家族、友人、先輩の紹介	2,255	33.2%	2,136	31.7%	4,391	32.5%
9 その他	226	3.3%	519	7.7%	745	5.5%
回答なし	37	0.5%	71	1.1%	108	0.8%
対象者数	6,795		6,729		13,524	



【今回の調査結果】

高校を決定する上で参考になったものは何か

○ 全体の傾向

- ・生徒の回答で多かったのは、「オープンスクール」47.0%、次いで「学校説明会」44.2%、「家族、友人、先輩の紹介」33.2%、「高校のパンフレット」22.5%であった。
- ・保護者の回答で多かったのは、「学校説明会」50.1%、「オープンスクール」45.4%、「家族、友人、先輩の紹介」31.7%であった。
- ・生徒、保護者とも、各高校が実施している「体験入学」や「学校説明会」、「パンフレット」が志願先を決定する際に参考にされている割合が高く、次に「家族、友人、先輩の紹介」となっている。

○ コメント

- ・各高校とも、生徒や保護者に学校の特色や教育活動を理解してもらえるよう、オープンスクールや学校説明会を、さらに充実するとともに、他の媒体の有効活用を進めていく必要がある。